

# 新モビリティの社会的受容形成に関する枠組みの提案に向けて

発表者 田口 遊羽 研究員

岩淵 紗葵 研究員

コメンテーター 谷口 綾子 筑波大学システム情報系教授

田口 遊羽 研究員



2020年3月、埼玉大学工学部建設工学科卒業。同年4月、JR東日本コンサルタンツ株式会社に入社し、鉄道駅、橋りょう、自由通路、駅前広場の新設・改良に関する調査・計画業務に従事。  
2025年7月より現職。

岩淵 紗葵 研究員



2017年3月、東京工業大学大学院情報理工学研究科情報環境学専攻修了。同年4月、東急株式会社に入社し、鉄道駅、事務所等の建設・改良に関する中長期計画の策定、設計、施工管理業務に従事。  
2025年4月より現職。

谷口 綾子  
筑波大学システム情報系教授



北海道大学工学部土木工学科で交通工学・交通計画を学び、社会人博士後期課程で心理学を学ぶ。建設コンサルタント、JSPS特別研究員(PD)(東京工業大学)、筑波大学講師、准教授などを経て2019年より現職。内閣府規制改革推進委員会、国土交通省社会資本整備審議会などの委員、土木学会理事、都市計画学会理事、等を歴任。2015年より自動運転システムの社会的受容の研究を始め、科研挑戦的萌芽、挑戦的開拓、基盤A「車と自動化する車の社会的受容に向けた学際的研究」の代表を務める。